

<b>5</b>	<b>2けたの数のわり算</b>	年 組 番	
		氏名	

何十でわるわり算

10をもとにして考えると、 $80 \div 20$ の商は、 $8 \div 2$ の計算で求められます。

$$80 \div 20 \rightarrow 8 \div 2 = 4 \rightarrow 80 \div 20 = 4$$

●例題●  $160 \div 30$ の計算のしかたを考えましょう。

(とき方) 10をもとにして考えると、 $16 \div 3 = \square$  あまり  $\square$   
 あまりの  $\square$  は10が  $\square$  つ分ですから、 $160 \div 30 = \square$  あまり  $\square$

2けたの数でわる筆算(1)

1.  $86 \div 23$ ,  $91 \div 18$ の筆算のしかた

かりの商が大きすぎたときは小さくし、小さすぎたときは大きくしてみます。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 23 \overline{)86} \\ \underline{92} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 3 \\ 23 \overline{)86} \\ \underline{69} \\ 17 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 4 \\ 18 \overline{)91} \\ \underline{72} \\ 19 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 5 \\ 18 \overline{)91} \\ \underline{90} \\ 1 \end{array}$$

2.  $215 \div 38$ の筆算のしかた

商は一の位にたちます。かりの商が大きすぎたときは小さくします。

$$\begin{array}{r} 6 \\ 38 \overline{)215} \\ \underline{228} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 5 \\ 38 \overline{)215} \\ \underline{190} \\ 25 \end{array}$$

2けたの数でわる筆算(2)

$437 \div 24$ の筆算のしかた

$437 \div 24$ だから、百の位に商は立ちません。

$$\begin{array}{r} 24 \overline{)437} \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 1 \\ 24 \overline{)437} \\ \underline{24} \\ 19 \end{array} \rightarrow \begin{array}{r} 18 \\ 24 \overline{)437} \\ \underline{24} \\ 197 \\ \underline{192} \\ 5 \end{array}$$

わり算のきまり

わり算では、わられる数とわる数を同じ数でわっても商は変わりません。  
 また、わられる数とわる数に同じ数をかけても商は変わりません。

$$120 \div 40 = 3 \Leftrightarrow 12 \div 4 = 3$$

<b>5</b>	<b>2けたの数のわり算</b>	年 組 番	9 問
		氏名	

① わり算をしましょう。わりきれないときはあまりをだしましょう。

(1)  $90 \div 30$       (2)  $540 \div 60$       (3)  $500 \div 80$

② 計算をしましょう。わりきれないときはあまりをだしましょう。

(1)

$$24 \overline{) 75}$$

(2)

$$26 \overline{) 96}$$

(3)

$$33 \overline{) 68}$$

(4)

$$57 \overline{) 515}$$

(5)

$$46 \overline{) 346}$$

③ 商が10より小さくなるのは、□に入る数がどんな数のときでしょう。

あてはまる数をすべて書き出しましょう。

$$4 \square 5 \div 42 < 10$$

<b>5</b>	<b>2けたの数のわり算</b>	年 組 番	11問
		氏名	

① 次の筆算をしましょう。また、答えもたしかめましょう。

(1)

$$17 \overline{) 89}$$

けん算

(2)

$$34 \overline{) 81}$$

けん算

② 次の筆算をしましょう。

(1)

$$25 \overline{) 604}$$

(2)

$$24 \overline{) 862}$$

(3)

$$37 \overline{) 774}$$

(4)

$$82 \overline{) 952}$$

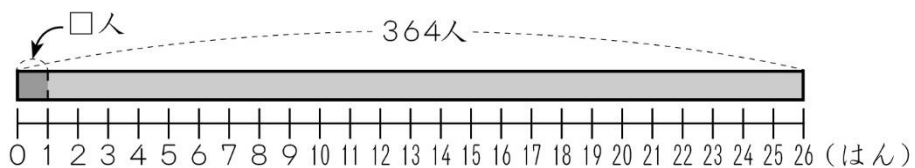
③ ㉗～㉙のうち、上の式と下の式の商が同じになる組はどれでしょう。

㉗  $360 \div 40$   
 $36 \div 4$

㉘  $360 \div 40$   
 $180 \div 20$

㉙  $360 \div 40$   
 $360 \div 4$

④ 364人を26はんに同じ人数ずつ分けます。1つのはんは、何人になるでしょう。



(式)

答え

<b>5</b>	<b>2けたの数のわり算</b>	年 組 番	12問
		氏名	

1. 筆算で計算しましょう。

(1)  $39 \div 16$

(2)  $457 \div 63$

(3)  $207 \div 28$

(4)  $128 \div 13$

(5)  $705 \div 34$

(6)  $6800 \div 700$

2. 赤色のリボンは7m2cmで、青色のリボンは27cmです。  
赤色のリボンは青色のリボンの何倍でしょう。

(式)

答え

3. 右のわり算で、商が10より小さくなるのは、□がどんな数のときでしょう。

$$\begin{array}{r} 43 \overline{)4 \square 6} \end{array}$$

答え

理由

4. ある数を42でわったら、商が18で、あまりが21になりました。この数を7でわると、答えはいくつになるでしょう。

答え

考え方